

HTLV-1啓発

— 水平感染を防ぐために、
今できる具体的な提案 —



NPO法人スマイルリボン活動からの意見

令和8年3月13日 第16回 HTLV-1対策推進協議会
NPO法人スマイルリボン 理事長 菅付 加代子

1. 現状認識



母子感染対策は進展

すでに一定の成果を上げている



成人後の感染が課題に

水平感染への対策が未着手

根本的問題：HTLV-1自体が社会に知られていない（認知度が極めて低い）

2. 当事者視点

HTLV-1を「強い性感染症」のイメージで強調して伝えると、逆効果になりうる



結果：
偏見を生み出し、
本来必要な
「検査の回避」に
つながってしまう

水平感染を防ぐには、
恐怖をあおるのではなく
「理解」を広げることが不可欠

⇒ だからこそ、まずは
「感染症の存在そのもの」
を知ってもらうことが
先決！

3. 短期的提案

親しみやすい入口から
認知拡大



- 1 既存キャラクター
「すまいるんるんちゃん」活用
- 2 「これは何？」から関心を喚起
- 3 母子・水平の両感染経路を自然に理解



4. 啓発の方向性

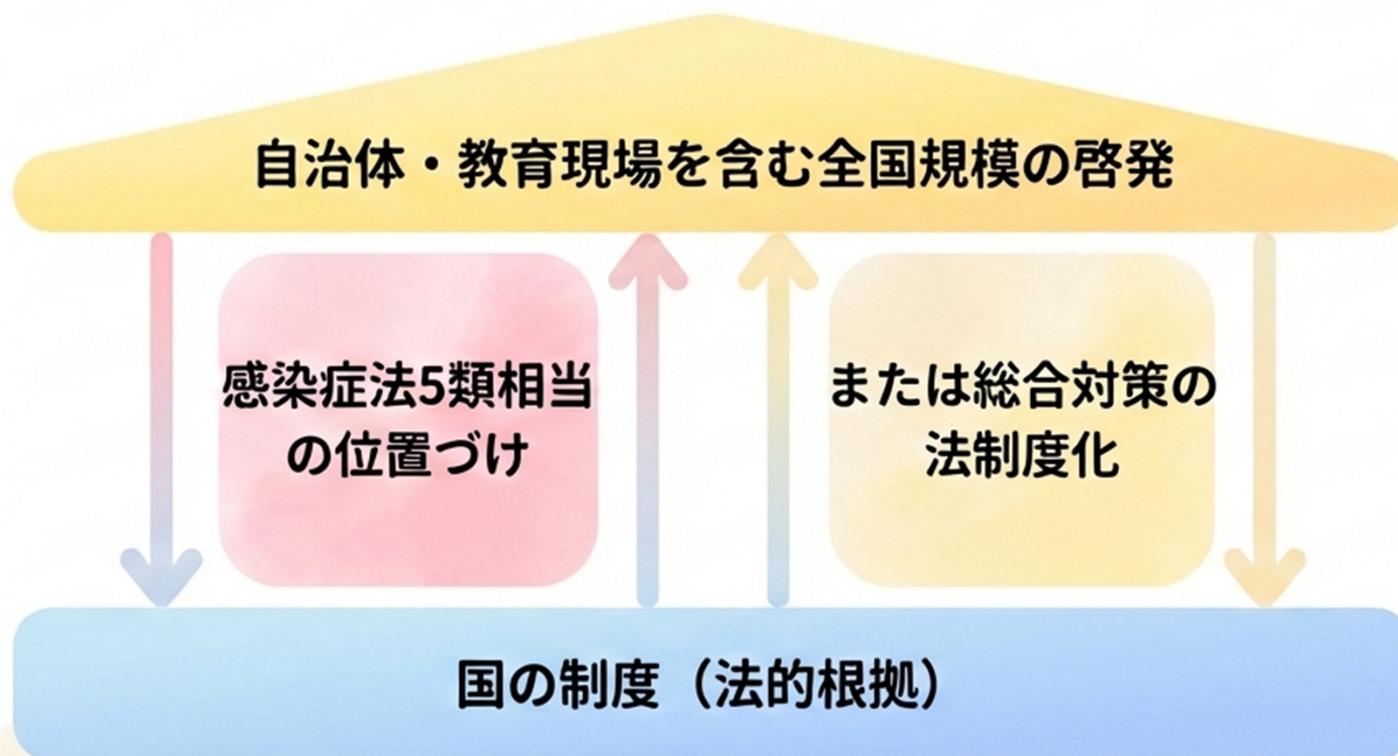
やさしく、確実に伝える



怖がらせない・責めない・孤立させない啓発

5. 中長期的提案

全国に広げるための基盤整備



自治体・教育現場を含む全国的啓発を推進する。

まとめ



HTLV-1の水平感染を防ぐためには、
恐怖ではなく「理解」を広げる
啓発が不可欠である。

私たちは当事者として、
この啓発設計への参画を強く望みます。